

# 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

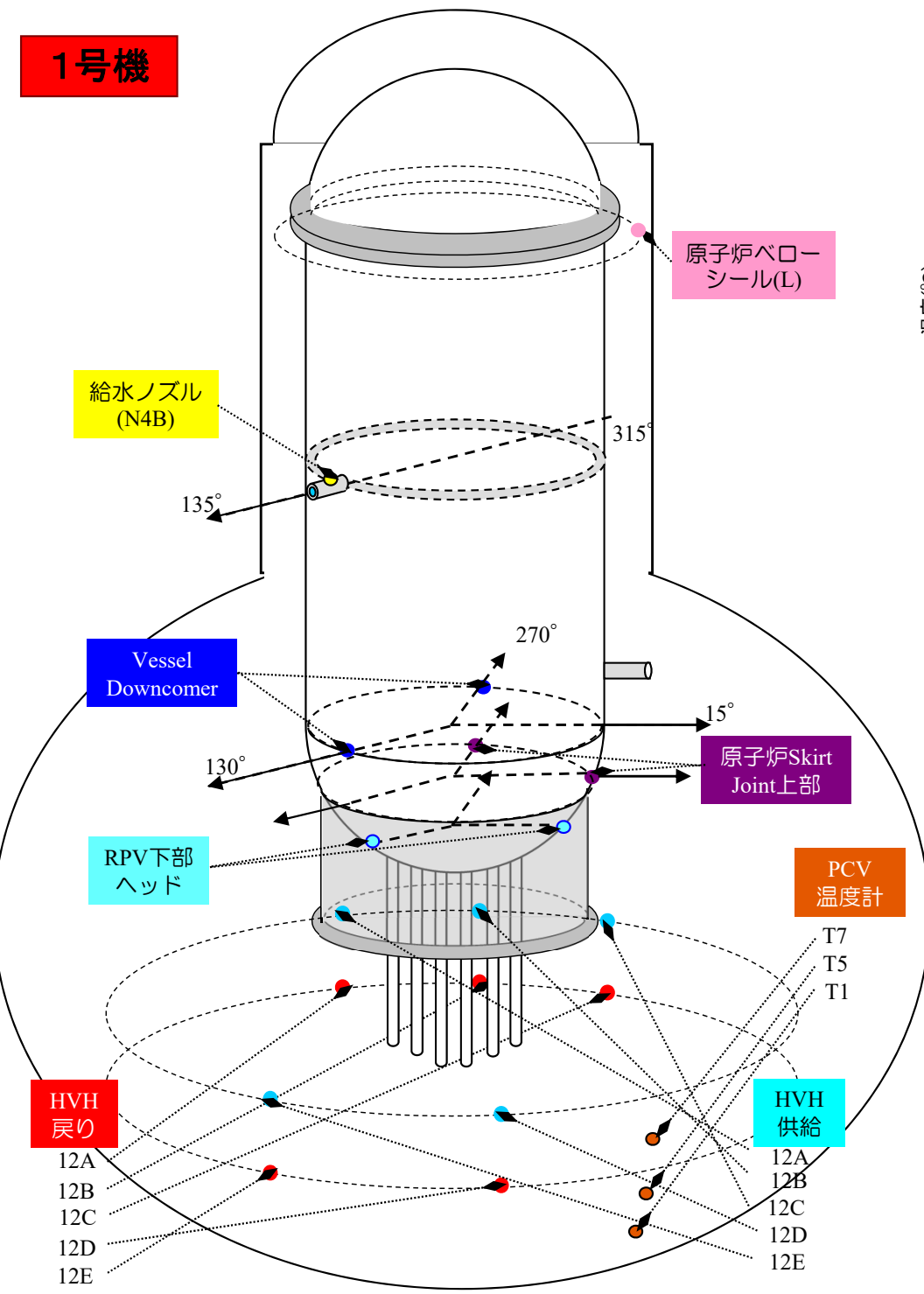
号機	1号機		2号機		3号機	
	3月27日	4月24日	3月27日	4月24日	3月27日	4月24日
原子炉注水状況	給水系：2.1m <sup>3</sup> /h CS系：1.3m <sup>3</sup> /h (3/27 11:00 現在)	給水系：1.5m <sup>3</sup> /h CS系：1.3m <sup>3</sup> /h (4/24 11:00 現在)	給水系：0.0m <sup>3</sup> /h CS系：1.5m <sup>3</sup> /h (3/27 11:00 現在)	給水系：1.4m <sup>3</sup> /h CS系：0.0m <sup>3</sup> /h (4/24 11:00 現在)	給水系：1.8m <sup>3</sup> /h CS系：1.9m <sup>3</sup> /h (3/27 11:00 現在)	給水系：1.9m <sup>3</sup> /h CS系：1.9m <sup>3</sup> /h (4/24 11:00 現在)
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：14.1℃ VESSEL ABOVE SKIRT JOINT (TE-263-69H1)：11.4℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：13.7℃ (3/27 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：17.6℃ VESSEL ABOVE SKIRT JOINT (TE-263-69H1)：14.7℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：17.3℃ (4/24 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：23.3℃ RPV Temperature (TE-2-3-69R)：24.0℃ (3/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：25.7℃ RPV Temperature (TE-2-3-69R)：31.0℃ (4/24 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM ABOVE SKIRT JOT (TE-2-3-69F1)：16.5℃ VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H1)：15.8℃ (3/27 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM ABOVE SKIRT JOT (TE-2-3-69F1)：19.4℃ VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H1)：18.8℃ (4/24 11:00 現在)
原子炉格納容器内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：13.6℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：13.6℃ (3/27 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：17.1℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：17.1℃ (4/24 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：23.5℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：23.5℃ (3/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：25.9℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：26.1℃ (4/24 11:00 現在)	PCV Temperature (TE-16-002)：14.7℃ SUPPLY AIR D/W COOLER (TE-16-114F#1)：15.7℃ (3/27 11:00 現在)	PCV Temperature (TE-16-002)：17.7℃ SUPPLY AIR D/W COOLER (TE-16-114F#1)：18.8℃ (4/24 11:00 現在)
原子炉格納容器圧力	0.42kPa <sub>g</sub> (3/27 11:00 現在)	0.04kPa <sub>g</sub> (4/24 11:00 現在)	1.45kPa <sub>g</sub> (3/27 11:00 現在)	2.55kPa <sub>g</sub> (4/24 11:00 現在)	0.52kPa <sub>g</sub> (3/27 11:00 現在)	0.52kPa <sub>g</sub> (4/24 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH-A)：-Nm <sup>3</sup> /h RPV (RVH-B)：16.95Nm <sup>3</sup> /h (JP-A)：15.42Nm <sup>3</sup> /h (JP-B)：-Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/27 11:00 現在)	RPV (RVH-A)：-Nm <sup>3</sup> /h RPV (RVH-B)：15.75Nm <sup>3</sup> /h (JP-A)：14.78Nm <sup>3</sup> /h (JP-B)：-Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (4/24 11:00 現在)	RPV-A：6.59Nm <sup>3</sup> /h RPV-B：6.53Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/27 11:00 現在)	RPV-A：6.16Nm <sup>3</sup> /h RPV-B：6.08Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (4/24 11:00 現在)	RPV-A：7.96Nm <sup>3</sup> /h RPV-B：8.04Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (3/27 11:00 現在)	RPV-A：7.97Nm <sup>3</sup> /h RPV-B：8.07Nm <sup>3</sup> /h PCV：-Nm <sup>3</sup> /h ※2 (4/24 11:00 現在)
原子炉格納容器水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (3/27 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (4/24 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.06vol% (3/27 11:00 現在)	A系：0.05vol% ※7 B系：0.02vol% (4/24 11:00 現在)	A系：0.36vol% B系：0.36vol% (3/27 11:00 現在)	A系：0.32vol% B系：0.32vol% (4/24 11:00 現在)
原子炉格納容器放射能濃度 (Xe135)	A系：9.81E-04Bq/cm <sup>3</sup> B系：1.20E-03Bq/cm <sup>3</sup> (3/27 11:00 現在)	A系：1.29E-03Bq/cm <sup>3</sup> ※6 B系：1.04E-03Bq/cm <sup>3</sup> (4/24 11:00 現在)	A系：ND(1.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(1.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (3/27 11:00 現在)	A系：ND(1.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(1.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (4/24 11:00 現在)	A系：ND(1.9E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(1.9E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (3/27 11:00 現在)	A系：ND(1.9E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系：ND(1.9E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (4/24 11:00 現在)
使用済燃料プール水温度	20.5℃ (3/27 11:00 現在)	22.5℃ (4/24 11:00 現在)	19.6℃ (3/27 11:00 現在)	21.6℃ (4/24 11:00 現在)	-℃ ※5 (3/27 11:00 現在)	-℃ ※5 (4/24 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク水位	4.95m (3/27 11:00 現在)	4.56m (4/24 11:00 現在)	2.80m (3/27 11:00 現在)	3.79m (4/24 11:00 現在)	3.90m (3/27 11:00 現在)	5.52m (4/24 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	3月27日	4月24日	3月27日	4月24日	3月27日	4月24日
使用済燃料プール水温度	-℃ ※4 (3/27 11:00 現在)	-℃ ※4 (4/24 11:00 現在)	19.0℃ (3/27 11:00 現在)	22.6℃ (4/24 11:00 現在)	20.6℃ (3/27 11:00 現在)	19.2℃ (4/24 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク水位	6.71m (3/27 11:00 現在)	6.72m (4/24 11:00 現在)	2.70m (3/27 11:00 現在)	2.60m (4/24 11:00 現在)	2.65m (3/27 11:00 現在)	2.65m (4/24 11:00 現在)

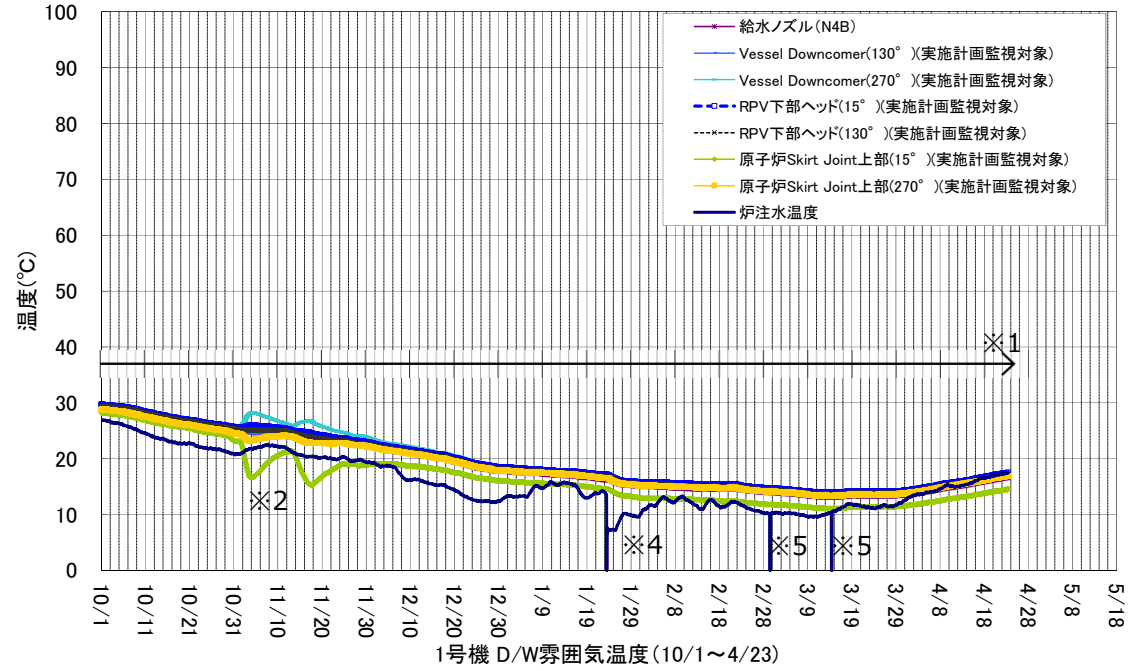
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。  
 ※2: 窒素封入停止中。  
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)  
 ※4: 4号機は使用済燃料の取り出しが完了しており、温度監視は不要。  
 ※5: 3号機は使用済燃料の取り出しが完了しており、温度監視は不要。  
 ※6: 所内電源A系停止のためデータが欠損。4/24 10:00現在の値を記載する。  
 ※7: 所内電源A系停止のためデータが欠損。4/24 5:00現在の値を記載する。

※ 1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相温度、格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。  
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

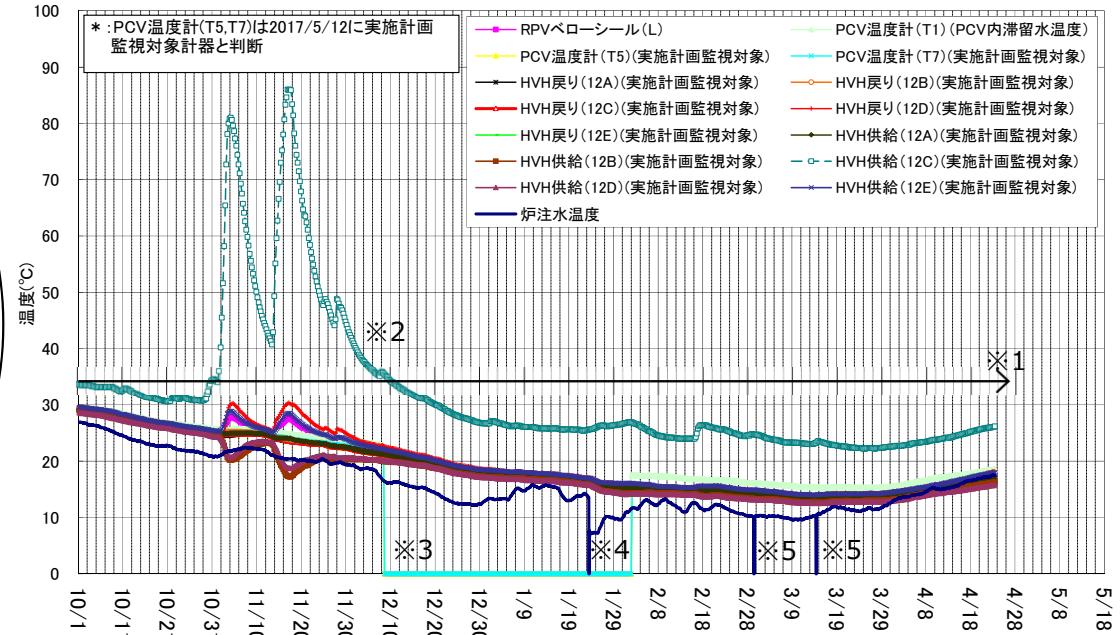
# 1号機



1号機 原子炉圧力容器まわり温度(10/1~4/23)

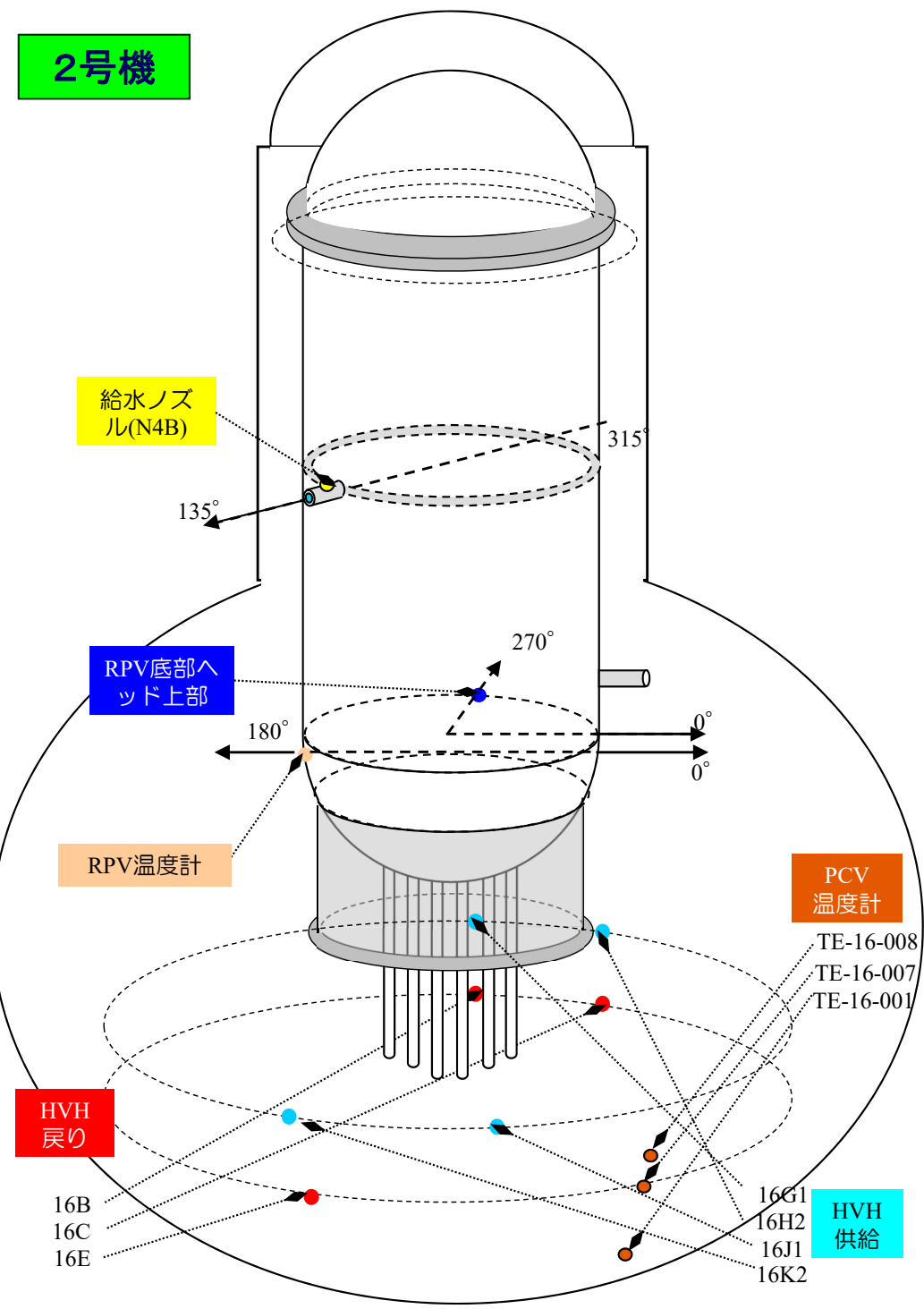


1号機 D/W雰囲気温度(10/1~4/23)

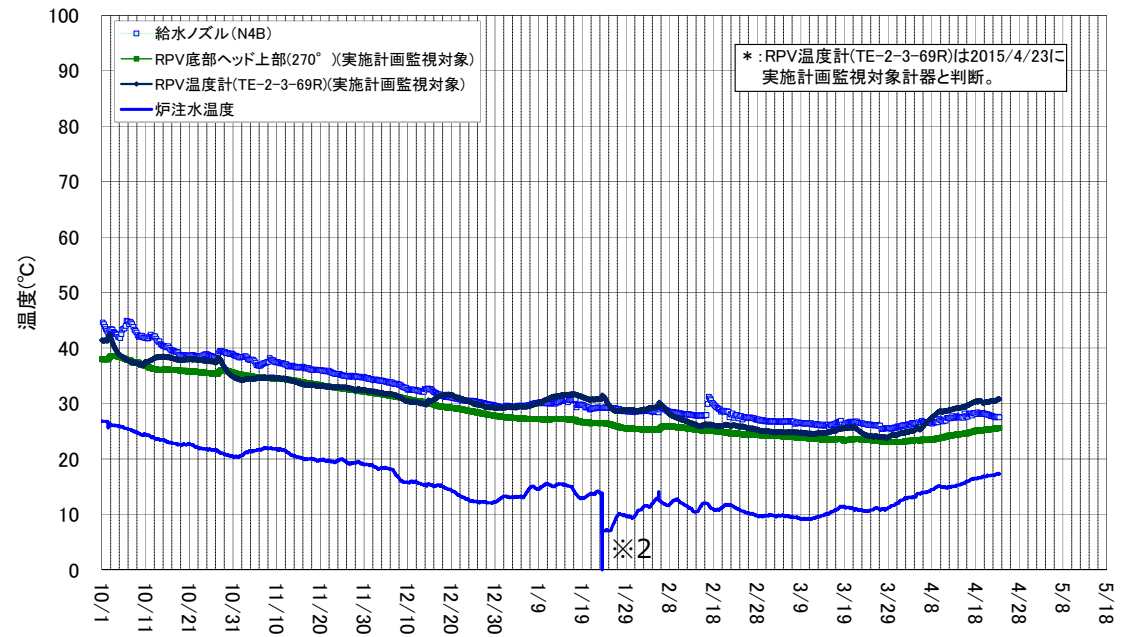


- ※1 2021/6/11~ PCV内減圧(期間中大気圧の変動及びAWJ作業に伴い一部の温度計のデータが変動)
- ※2 2023/11/1~ 1号機原子炉格納容器閉じ込め機能強化に向けた試験のため温度が変化。  
なお、温度変化は、試験中止を判断する基準である90℃以下にとどまっている。
- ※3 2023/12/8~2024/2/1 1号機PCV滞留水温度計/水位計取替工事に伴いPCV温度計(T1、T5、T7)のデータが欠損していたが、2024/2/2に当該温度計の運用を開始した。データ欠損期間中においては、他のPCV・RPV温度計(温度監視)およびS/C窒素封入による水位換算(水位監視)により、冷温停止の監視を行っていた。
- ※4 2024/1/23 炉注水源切替(2号機CST→3号機CST)に伴い、グラフの炉注水温度データが欠測。
- ※5 2024/2/29、2024/3/14 1号機PCV内部調査に伴う炉注停止のため、データが欠測。

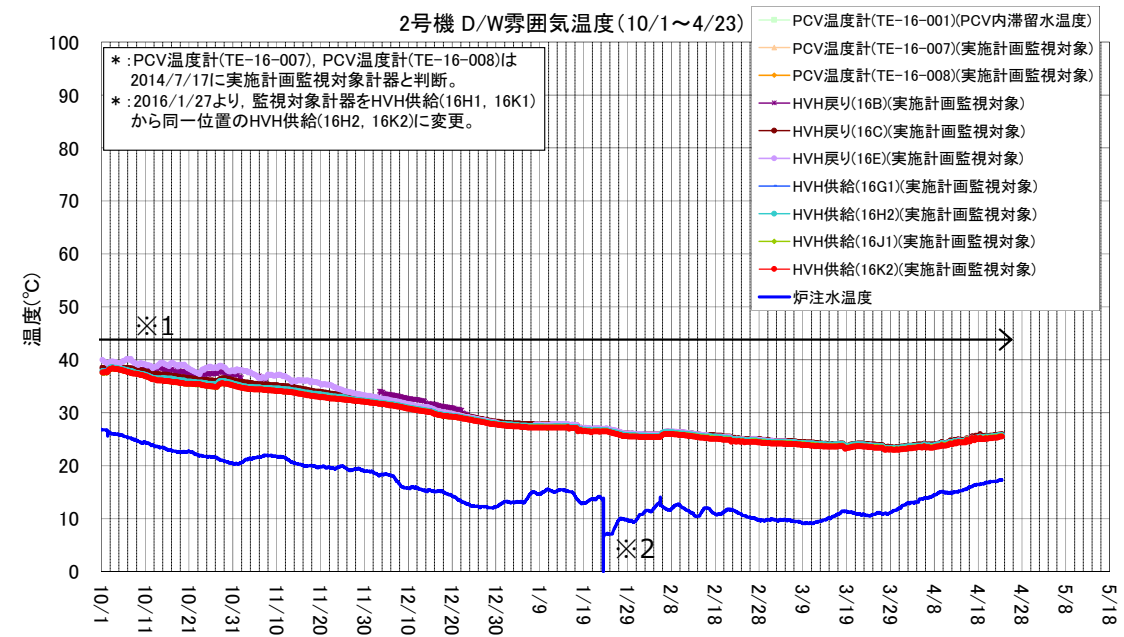
# 2号機



2号機 原子炉圧力容器まわり温度(10/1~4/23)

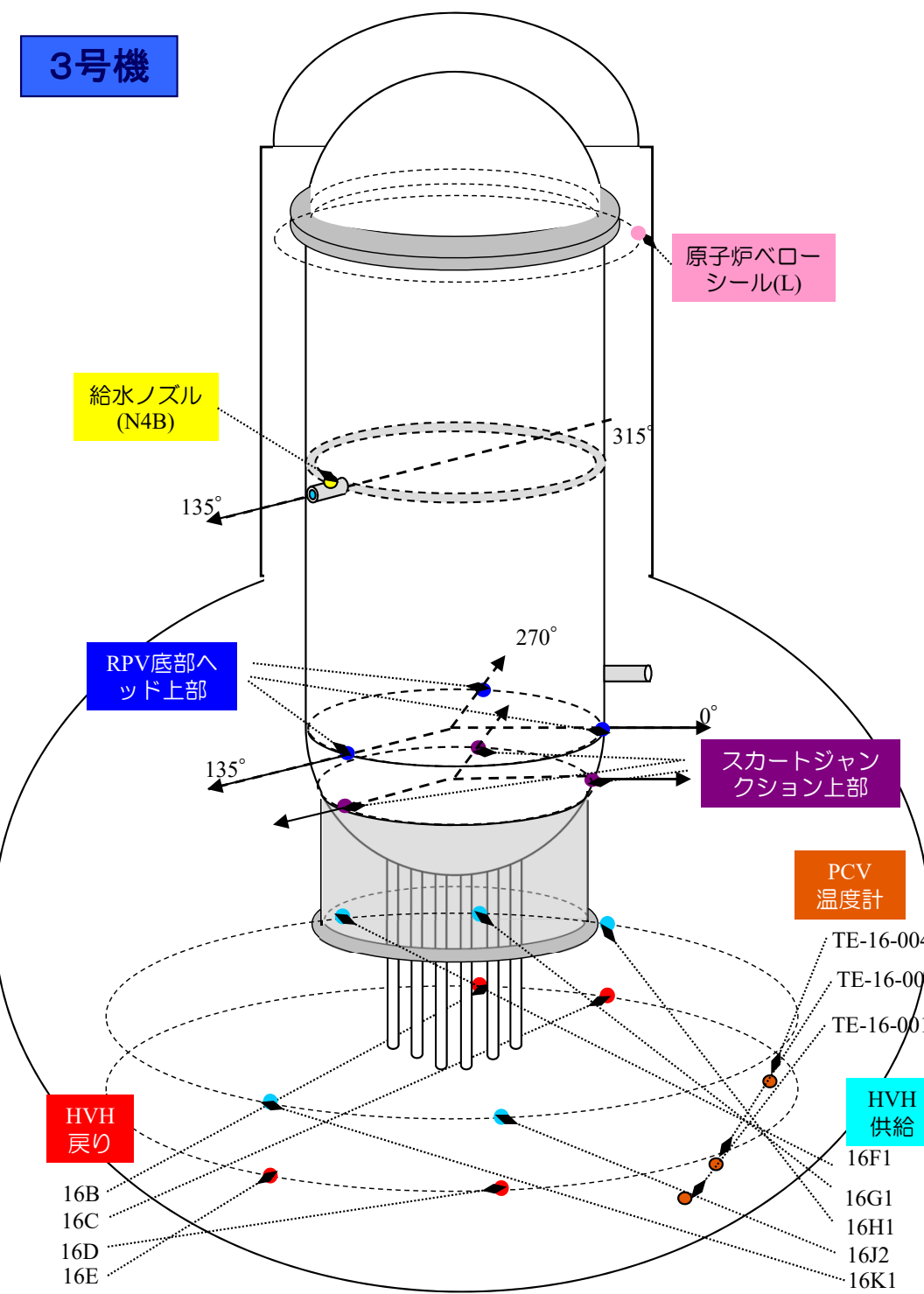


2号機 D/W雰囲気温度(10/1~4/23)

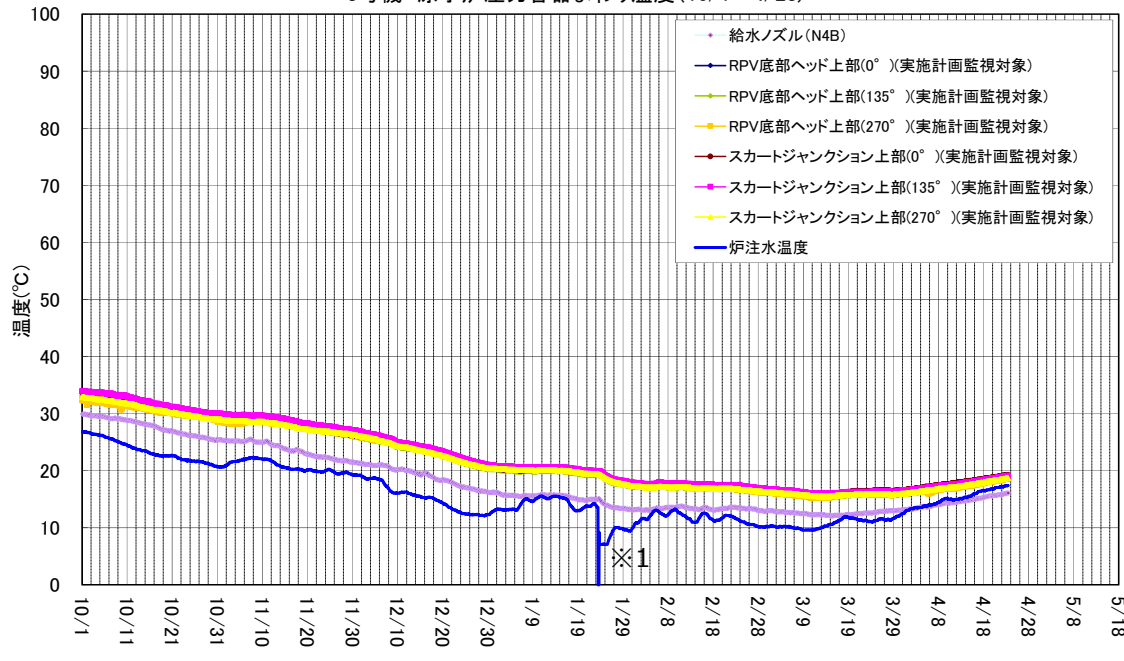


※1 2020/11/10~ PCV内部調査及び試験的取り出しの準備作業に伴い一部の温度計 (TE-16-001,007,008) のデータが欠測  
 ※2 2024/1/23 炉注水源切替(2号機CST→3号機CST)に伴い、グラフの炉注水温度データが欠測

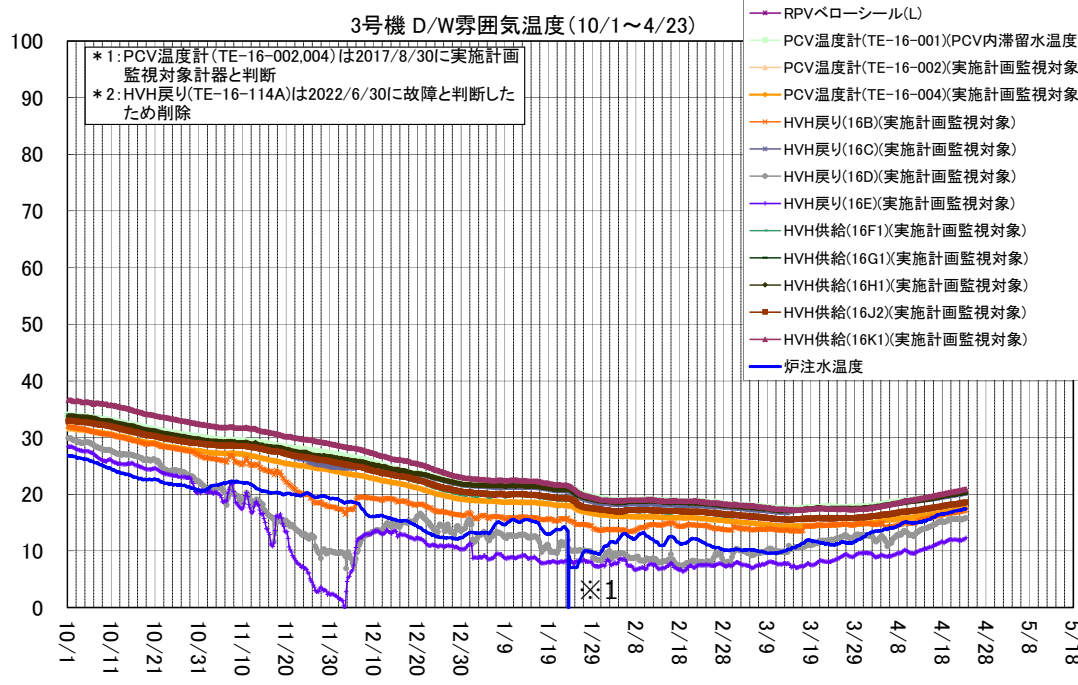
# 3号機



3号機 原子炉圧力容器まわり温度(10/1~4/23)



3号機 D/W雰囲気温度(10/1~4/23)



※1 2024/1/23 炉注水源切替(2号機CST→3号機CST)に伴い、グラフの炉注水温度データが欠測



滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足

②1~4号機タンク貯蔵量

・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり  
・蒸発濃縮装置は全台停止中

③5, 6号機滞留水貯蔵量

・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり

④廃棄物発生量

・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約880 m <sup>3</sup>	- (水抜き完了)
2号機	約1,140 m <sup>3</sup>	- (水抜き完了)
3号機	約1,180 m <sup>3</sup>	- (水抜き完了)
4号機	約10 m <sup>3</sup>	- (水抜き完了)
合計	約3,210 m <sup>3</sup>	

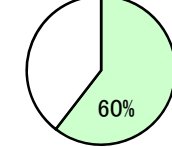
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約8,030 m <sup>3</sup>	T.P.492
高温焼却炉建屋	約2,630 m <sup>3</sup>	T.P.-72
合計	約10,660 m <sup>3</sup>	

(合計):+2530[m<sup>3</sup>/4週] (合計):+570[m<sup>3</sup>/週]

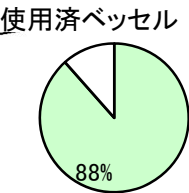
	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	538 m <sup>3</sup>	1,200 m <sup>3</sup>
SPT(A)	410 m <sup>3</sup>	3,100 m <sup>3</sup>
SPT(B)	675 m <sup>3</sup>	3,100 m <sup>3</sup>
1号CST	625 m <sup>3</sup>	1,600 m <sup>3</sup>
2号CST	1,878 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>
3号CST	1,719 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>
パフファタンク	631 m <sup>3</sup>	700 m <sup>3</sup>
合計	-57[m <sup>3</sup> /4週]	-140[m <sup>3</sup> /週]

④廃棄物発生量

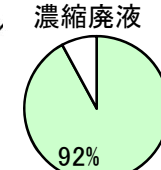
廃スラッジ



保管量:423/700[m<sup>3</sup>] ※3

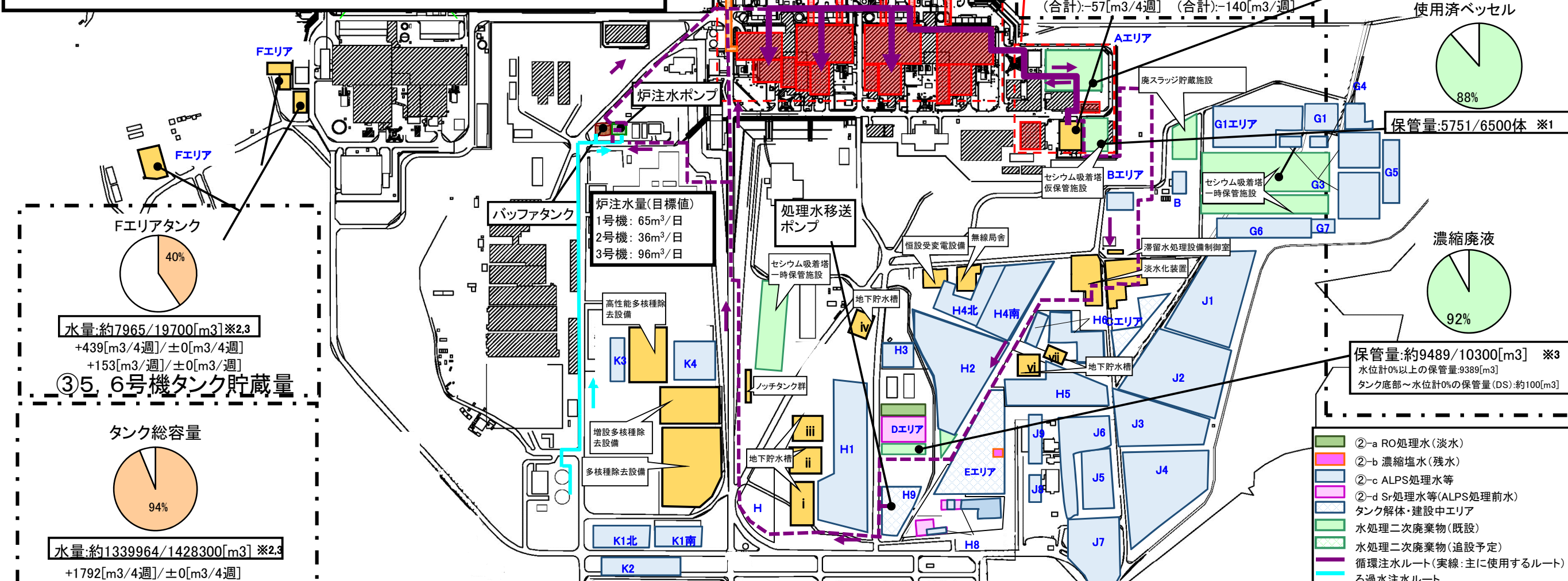


保管量:5751/6500体 ※1



保管量:約9489/10300[m<sup>3</sup>] ※3  
水位計0%以上の保管量:9389[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の保管量(DS):約100[m<sup>3</sup>]

- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c ALPS処理水等
- ②-d Sr処理水等(ALPS処理前水)
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート



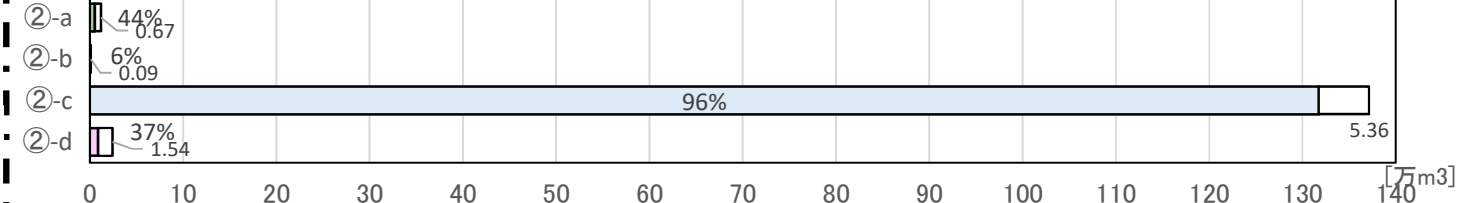
③5, 6号機タンク貯蔵量

水量:約7965/19700[m<sup>3</sup>] ※2,3  
+439[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
+153[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

タンク総容量

水量:約1339964/1428300[m<sup>3</sup>] ※2,3  
+1792[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
+674[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

②1~4号機タンク貯蔵量合計(②+③)



②-a RO処理水(淡水)	②-b 濃縮塩水(残水)	②-c ALPS処理水等	②-d Sr処理水等(ALPS処理前水)
水量:約5330/12000[m <sup>3</sup> ] ※2,3 水位計0%以上の水量:5230[m <sup>3</sup> ] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約100[m <sup>3</sup> ] +714[m <sup>3</sup> /4週]/±0[m <sup>3</sup> /4週] +476[m <sup>3</sup> /週]/±0[m <sup>3</sup> /週]	水量:約100/1000[m <sup>3</sup> ] ※2,3 水位計0%以上の水量:約0[m <sup>3</sup> ] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約100[m <sup>3</sup> ] ±0[m <sup>3</sup> /4週]/±0[m <sup>3</sup> /4週] ±0[m <sup>3</sup> /週]/±0[m <sup>3</sup> /週]	水量:約1317616/1371200[m <sup>3</sup> ] ※2,3,4,6 水位計0%以上の水量:1315216[m <sup>3</sup> ] ※7 タンク底部~水位計0%の水量(DS):約2400[m <sup>3</sup> ] +276[m <sup>3</sup> /4週]/±0[m <sup>3</sup> /4週] -304[m <sup>3</sup> /週]/±0[m <sup>3</sup> /週]	水量:約8992/24400[m <sup>3</sup> ] ※2,3 水位計0%以上の水量:8792[m <sup>3</sup> ] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約200[m <sup>3</sup> ] +363[m <sup>3</sup> /4週]/±0[m <sup>3</sup> /4週] +349[m <sup>3</sup> /週]/±0[m <sup>3</sup> /週]

1~4号機タンク総容量

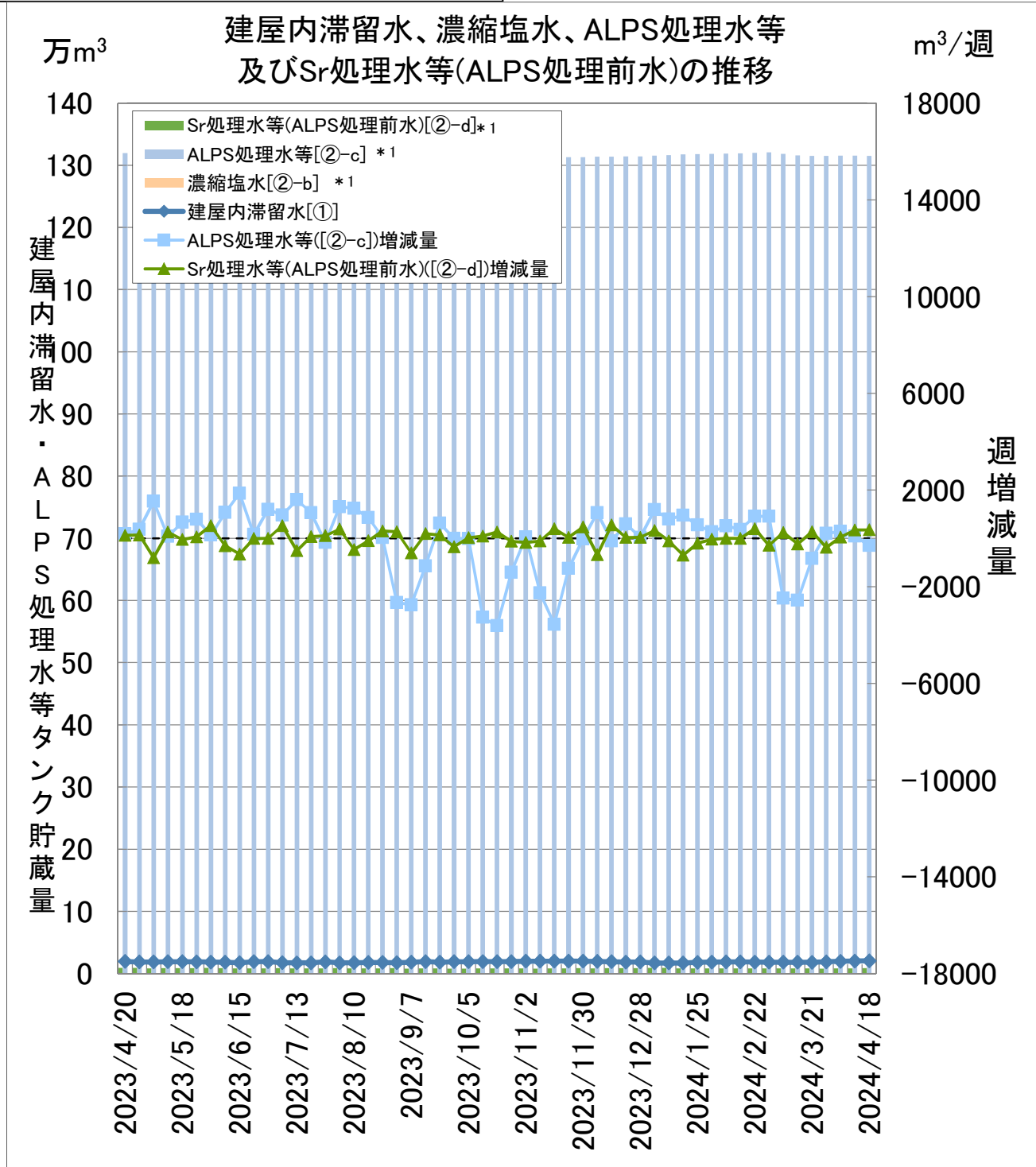
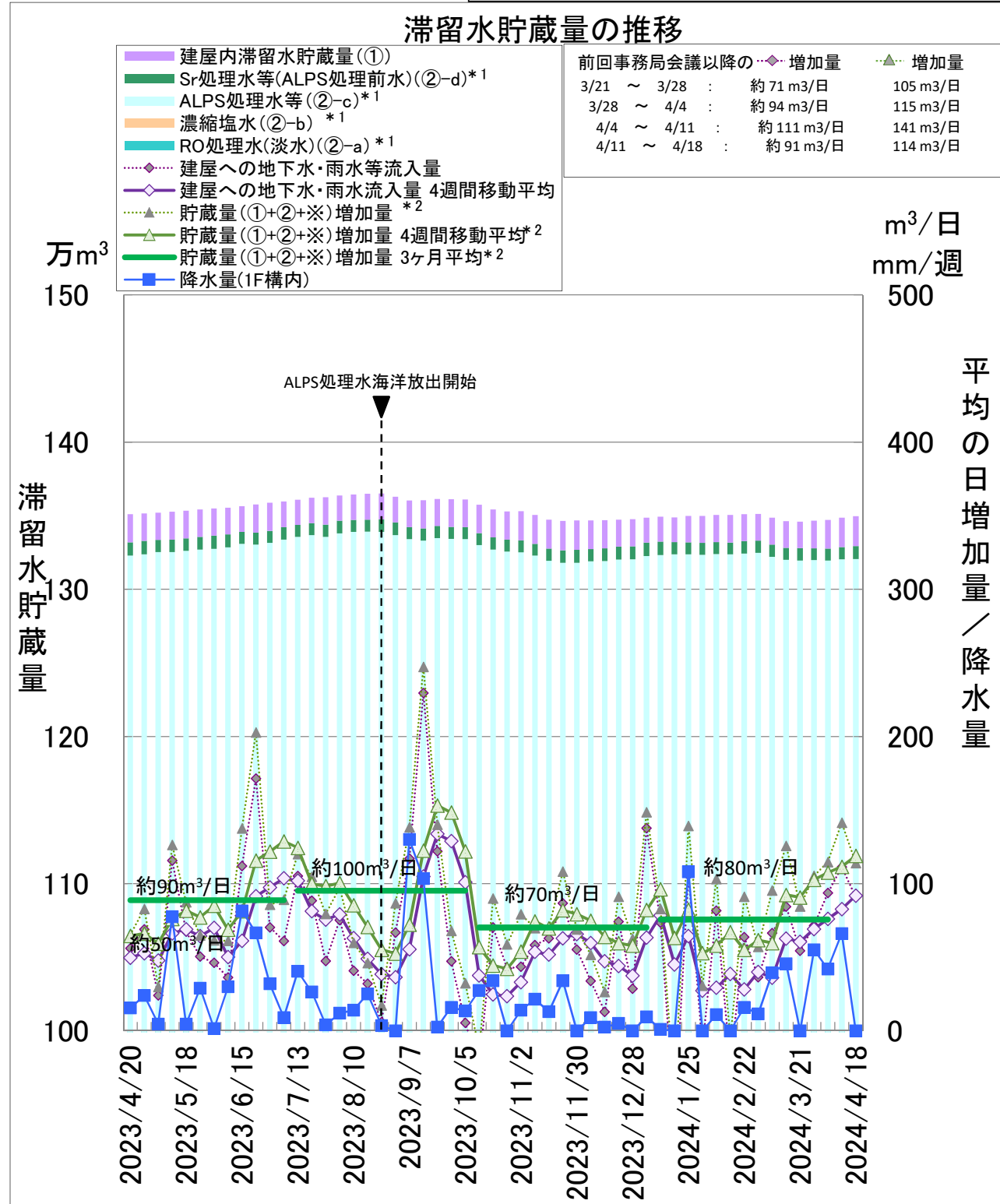
水量:約1352345[m<sup>3</sup>] ※5  
+3756[m<sup>3</sup>/4週] ※5  
+911[m<sup>3</sup>/週]

建屋内貯蔵量  
+  
1~4号機タンク貯蔵量  
(①+②)

②1~4号機タンク貯蔵量

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む  
 ※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い  
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記。端数処理上、水量の総和と異なる場合がある)  
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵  
 ※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約70m<sup>3</sup>/週)、共用プールから高温焼却炉建屋への移送量(約10m<sup>3</sup>/週)、その他移送量(約70m<sup>3</sup>/週)の合計約140m<sup>3</sup>/週を含む  
 (端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)  
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む  
 ※7 フランジ型タンクのタンク底部~水位計0%の水量(DS)は水位計0%以上の水量に含める

### 滞留水の貯蔵状況の推移



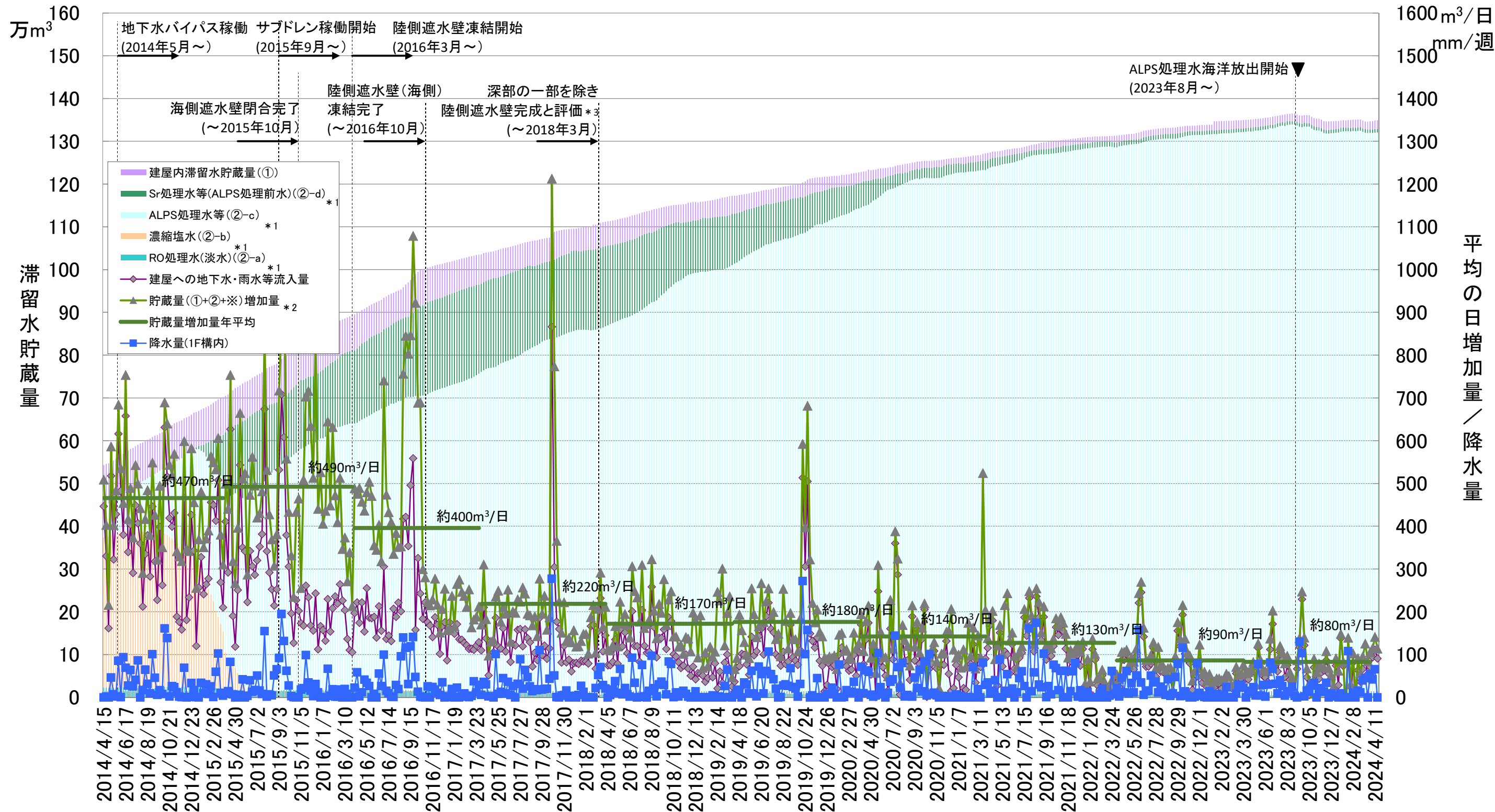
①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(A)、SPT(B)、1~3号機CST、バッファタンク)  
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量(RO処理水(淡水)+濃縮塩水+ALPS処理水等+Sr処理水等(ALPS処理前水))  
 ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)  
 \* 1: 水位計0%以上の水量  
 \* 2: 汚染水発生量の算出方法で算出 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)], ALPS処理水の放出量は加味していない

設備	期間処理水 <sup>注1,4)</sup>		定格処理量 [m <sup>3</sup> /日]
	[m <sup>3</sup> /週] <sup>注2)</sup>	[m <sup>3</sup> /4週]	
既設多核種除去設備	846	3,561	750以上
増設多核種除去設備	0	9	750以上
高性能多核種除去設備	0	0	400以上
高性能 検証試験装置	0	0	50
合計	846	3,570	

注1) 処理量は全て出口積算流量計から算出しており、薬液注入量を含む。  
 注2) 処理量846m<sup>3</sup>の内訳はRO濃縮塩水処理量 0m<sup>3</sup>、Sr処理水処理量827m<sup>3</sup>、処理水処理量 0m<sup>3</sup>、薬液注入量他 19m<sup>3</sup>(注3)を含む  
 注3) 処理水を用いて粉体を溶かし生成している薬液量(0m<sup>3</sup>)を含む。  
 注4) 設備の出口積算流量計を基に算出



# 滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(A)、SPT(B)、1~3号機CST、バッファタンク)

②: 1~4号機タンク貯蔵量  
 ([②-aRO処理水(淡水)]+[②-b濃縮塩水]+[②-cALPS処理水等]+[②-dSr処理水等(ALPS処理前水)])

※: タンク底部から水位計0%までの水量  
 \*1: 水位計0%以上の水量  
 \*2: 汚染水発生量の算出方法で算出 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)], ALPS処理水の放出量は加味していない  
 \*3: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了

各エリア別タンク一覧

(2024年4月18日 現在)

※下線部は前回事務局会議資料からの変更点

掘エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	
E	1	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G1	66	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	39	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G4北	6	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G4南	26	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G5	17	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(II)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H8北	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水	
	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
H8南	9	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
J1	98	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	



掘エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K2	28	1057	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種除 去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	

合計 1083 S:処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、R:RO濃縮水処理設備

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
	3	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Nタンク

合計 31

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

汚染水等構内溜まり水の状況（2024.4.18時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	0 (2024.3.21時点)	Cs-134: 2.9E0 Cs-137: 9.7E1 (2022.7.12)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約7,500 (2024.3.21時点)	Cs-134: 7.7E0 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を実測して算出
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)	
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: ND Cs-137: 1.1E1 (2023.9.12)	
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)	
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs-134: 9.1E0 Cs-137: 6.4E2 (2023.11.29) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上屋】 Cs-134: ND Cs-137: 2.5E2 (2023.11.29) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.6E4 (2024.2.6) <b>7.1E3</b> (2024.4.9) H-3: ND (2019.9.4) —	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 9.4E4 (2024.2.7) <b>4.7E4</b> (2024.4.10) H-3: ND (2019.9.4) —	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.9E4 (2024.2.9) <b>3.6E4</b> (2024.4.12) H-3: ND (2019.9.5) —	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)

汚染水等構内溜まり水の状況（2024.4.18時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~100 (2023.1)	Cs-134: ND~1.9E2 Cs-137: 1.1E2~9.1E3 全β: 1.3E2~8.1E3 H-3: ND~5.0E2 (2023.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2022年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照	
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1,600 (2023.1)	Cs-134: ND Cs-137: 1.0E2 全β: 1.0E2 H-3: ND (2023.1)		
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約390 (2023.1)	Cs-134: ND Cs-137: 4.2E1 全β: 7.2E1 (2023.1)		
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約840 (2023.1)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)		
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約6~830 (2022.1)	Cs-134: ND~1.0E1 Cs-137: 1.1E1~2.5E2 全β: 1.9E1~2.5E2 H-3: ND (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照	
29	1~4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1~4号機周辺「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 5.7E2 Cs-137: 3.6E4 全β: 4.2E4 H-3: ND (2024.1.6)	<u>1.2E3</u> <u>7.3E4</u> <u>8.7E4</u> <u>1.2E2</u> <u>(2024.3.8)</u>	
30	その他1~4号機サブドレン(ディープウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺「未復旧」	約15/ピット	【No.47,48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)		
32	1号機放水路(出口を閉塞済)	・1号機放水路(出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約5,220 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.9E2 Cs-137: 1.7E4 全β: 2.0E4 H-3: 9.3E1 (2024.3.15)	<u>8.0E1</u> <u>5.5E3</u> <u>6.7E3</u> <u>ND</u> <u>(2024.4.15)</u>	
33	2号機放水路(出口を閉塞済)	・2号機放水路(出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋海側	約5,350 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.3E1 Cs-137: 1.1E3 全β: 1.5E3 H-3: ND (2024.3.15)	<u>1.1E1</u> <u>6.7E2</u> <u>1.1E3</u> <u>ND</u> <u>(2024.4.15)</u>	
34	3号機放水路(出口を閉塞済)	・3号機放水路(出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋海側	約3,360 (2022.1)	Cs-134: 1.0E1 Cs-137: 5.9E2 全β: 8.4E2 H-3: 1.7E2 (2024.2.14)	<u>8.8E0</u> <u>4.9E2</u> <u>9.8E2</u> <u>1.9E2</u> <u>(2024.3.13)</u>	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全γ放射能: 3.1E1 全β放射能: - (2014.5.23)		
36	5号CSTタンク(溶接タンク)	・5号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1120 (2024.3.18)	Cs-134: ND Cs-137: ND Co-60: ND (2024.2.13)	<u>ND</u> <u>ND</u> <u>ND</u> <u>(2024.3.12)</u>	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク(溶接タンク)	・6号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1600 (2024.3.18)	Cs-134: ND Cs-137: ND Co-60: ND (2024.2.15)	<u>ND</u> <u>ND</u> <u>ND</u> <u>(2024.3.19)</u>	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機ストームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,870 (2022.1)	Cs-134: ND~1.7E0 Cs-137: ND~5.1E1 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs-134: 1.0E+1 Cs-137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)		
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134: ND Cs-137: ND~2.1E1 (2024.3.20)	<u>ND</u> <u>ND~1.7E1</u> <u>(2024.4.17)</u>	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留	



汚染水等構内溜まり水の状況（2024.4.18時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約5,200 (2024.3.21時点)	<p>【5号機】</p> <p>Cs-134: ND Cs-137: 7.6E-1 全β: ND H-3: ND (2024.2.15)</p> <p>【6号機】</p> <p>Cs-134: ND Cs-137: 1.4E0 全β: ND H-3: 1.6E2 (2024.2.16)</p>	<p>6号機については、フランジタンク運用停止に向けた移送設備改良工事のため、5号機T/Bから6号機T/Bへの滞留水移送を一時中断したことにより放射能濃度が一時的に上昇した。現在、滞留水の移送を再開しており、下記濃度まで低下したことを確認している。</p> <p>Cs-134: 5.4E-1 Cs-137: 3.1E1 全β: 7.2E1 H-3: 1.1E3 (2024.4.16)</p>
46	排気筒ドレンサンプピット	・1/2号排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約0.3 <sup>※</sup> ※適宜溜まり水の移送を実施	<p>Cs-134: 7.2E4 Cs-137: 4.2E6 全β: 4.1E6 (2023.9.27)</p>	<p>流入抑制対策としてサンブ近傍マンホールの止水対策を2024年1～2月に実施。その後の降雨時にピット水位の上昇はなく、止水の効果を確認。また、汚染源調査のため、流入箇所であるマンホールから注水し、ピット内のサンプリングを実施</p>
		・3/4号排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約2	<p>Cs-134: 2.3E1 Cs-137: 7.0E2 全β: 1.0E3 (2023.3.29)</p>	
		・5/6号排気筒ドレンサンプピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	<p>Cs-134: ND Cs-137: 1.2E1 全β: 2.2E1 (2023.3.28)</p>	<p>ND 1.6E1 2.2E1 (2024.3.19)</p>
		・集中RW排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺	約10	<p>Cs-134: ND Cs-137: 4.3E2 全β: 4.7E2 (2023.12.6)</p>	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	約200	<p>Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)</p>	

## 2022年度 トレンチ等内 溜まり水点検結果一覧

## ・溜まり水点検結果一覧表(1~4号機周辺の建屋に接続しているトレンチ)

NO.	場所	溜まり水の有無	ボトル表面線量率 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分 ※ <sup>4</sup>	概算溜まり水量 水量( $\text{m}^3$ )	備考
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全 $\beta$	H-3			
1- 1	水処理建屋~1号機T/B連絡ダクト			対策完了 2016. 8							
1- 2	1号機薬品タンク連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	2021年度点検結果※ <sup>6</sup>	
1- 3	1号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.2	1.9E+02	9.1E+03	9.3E+03	8.1E+03	4.9E+02	C	4	
1- 4	1号機電源ケーブルトレンチ(TP+2.564)			対策完了 2016. 7							
	1号機電源ケーブルトレンチ(TP+5.564)	なし	-	-	-	-	-	-	-		
1- 5	1号機予備電源ケーブルダクト			対策完了 2016. 9							
1- 6	1号機海水配管トレンチ	あり※ <sup>2</sup>	0.2	<6.2E+00	4.2E+01	4.2E+01	7.2E+01	<1.2E+02	C	389	
1- 7	1号機共通配管ダクト(北側)	なし※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	2021年度点検結果※ <sup>6</sup>	
1- 8	1号機共通配管ダクト(東側)	なし※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	2021年度点検結果※ <sup>6</sup>	
1- 9	1号機コントロールケーブルダクト	あり※ <sup>2</sup>	0.2	<7.6E+00	1.1E+02	1.1E+02	1.3E+02	<1.2E+02	C	100	
1- 10	1号機ホットシャワードレンタンク連絡ダクト	-※ <sup>1</sup>	-	-	-	-	-	-	-		
1- 11	1号機ポンプ室循環水ポンプ吐弁ピット			対策完了 2015. 11							
1- 12	2~4号機DG連絡ダクト	あり※ <sup>2</sup>	0.2	<9.6E+00	1.0E+02	1.0E+02	1.0E+02	<1.2E+02	C	1,594	
1- 13	2号機放射性流体用配管ダクト			対策完了 2022. 9							
1- 14	2号機共通配管ダクト	なし※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-	2021年度点検結果※ <sup>6</sup>	
1- 15	2号機ポンプ室循環水ポンプ吐弁ピット			対策完了 2012. 4							
1- 16	2~3号機非常用電源ケーブル連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-		
1- 17	2号機電源ケーブルトレンチ	あり※ <sup>2</sup>	0.2	2.4E+01	9.0E+02	9.2E+02	8.2E+02	5.0E+02	C	1	
1- 18	2号機海水配管(SW)トレンチ			対策完了 2016. 6							
1- 19	NO. 2軽油配管トレンチ	あり	0.2	1.2E+01	4.9E+02	5.0E+02	5.1E+02	<1.2E+02	C	26	
1- 20	2号機薬品タンク連絡ダクト			対策完了 2016. 11							
1- 21	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	-※ <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-	-	840	※ <sup>5</sup>
1- 22	3号機放射性流体用配管ダクト			対策完了 2019. 12							
1- 23	3号機薬品タンク連絡ダクト	なし※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-		
1- 24	3号機ポンプ室循環水ポンプ吐弁ピット			対策完了 2012. 5							
1- 25	3号機オフガス配管ダクト(北側)	なし※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	-	-		
1- 26	3号機オフガス配管ダクト(南側)	あり	0.3	2.9E+01	1.1E+03	1.2E+03	1.1E+03	<1.2E+02	C	10	
1- 27	重油配管トレンチ(3, 4号機東側)	あり	0.2	8.3E+01	3.4E+03	3.5E+03	3.3E+03	<1.3E+02	C	7	
1- 28	3号機電源ケーブルトレンチ	あり	-	1.2E+02	5.1E+03	5.3E+03	6.7E+03	2.8E+02	C	2	2022年度 新規点検箇所
1- 29	4号機放射性流体用配管ダクト			対策完了 2020. 3							
1- 30	4号機薬品タンク連絡ダクト			対策完了 2016. 10							
1- 31	4号機海水配管(SW)トレンチ			対策完了 2016. 12							
1- 32	4号機ポンプ室循環水ポンプ吐弁ピット			対策完了 2015. 11							
1- 33	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト	あり※ <sup>2</sup>	0.2	<8.2E+00	1.3E+02	1.3E+02	2.0E+02	<1.3E+02	C	53	
1- 34	共用プール連絡ダクト			対策完了 2013. 2							
1- 35	4号機オフガス配管ダクト	-※ <sup>1</sup>	-	-	-	-	-	-	-		
1- 36	4号機共通配管ダクト			対策完了 2016. 12							
1- 37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト			対策完了 2017. 7							
1- 38	4号機電源ケーブルトレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-		
1- 39	4号機海水配管トレンチ			対策完了 2015. 12							
1- 40	共用プール連絡ダクト			対策完了 2016. 12							
									計	3,026	

※<sup>1</sup> 確認困難(高線量エリアのためアクセスができない箇所)※<sup>4</sup> 溜まり水区分 A:  $10^6\text{Bq/L}$ レベル以上※<sup>2</sup> 一部対策済み(Cs計濃度) B:  $10^5\text{Bq/L}$ レベル※<sup>3</sup> 凍土設備により凍結している箇所C:  $10^4\text{Bq/L}$ レベル以下※<sup>5</sup> 凍結した水面の水位より水量を算出

今後凍結していない箇所での確認を検討

※<sup>6</sup> 確認頻度は、原則1年に1度としているが2021年度より当時大きな変動が認められなかった箇所については3年に1度としている

次回確認は2024年度の予定

2021年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

添付資料(2)

・溜まり水調査結果一覧表(1~4号機周辺の滞留水があるもしくは過去に滞留水があった建屋に接続していないトレンチ等)

NO.	場所	今回調査 2022. 1月実施										
		溜まり水の有無	ボトル表面検査率 (μ Sv/h)	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分※ <sup>8</sup>	概算溜まり水量		
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量(m <sup>3</sup> )	
2- 1	NO.1軽油配管トレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 2	1~2号機ケーブルダクト	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 3	重油配管トレンチ(1号機PPゲート南側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 4	1号機ボイラー室電気品室連絡トレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 5	1~4号機発電機注入用窒素ガスボンベ室連絡トレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 6	重油配管トレンチ(1号機東側)	あり	0.2	<6.7E+00	2.8E+01	2.8E+01	4.6E+01	<1.2E+02	C	TP+2.214 (OP+3.850)	6	
2- 7	1号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<8.8E+00	1.8E+02	1.8E+02	2.2E+02	<1.2E+02	C	TP+5.285 (OP+7.721)	518	
2- 8	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	1.0E+01	2.5E+02	2.6E+02	2.5E+02	<1.2E+02	C	TP+5.728 (OP+7.164)	292	
2- 9	1号機変圧器防災用トレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 10	1号機廃液サージタンク連絡ダクト	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 11	1号機オフガス配管ダクト	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 12	1号機活性炭ホルドアップダクト	あり	0.3	<6.5E+00	1.7E+01	1.7E+01	3.9E+01	<1.2E+02	C	TP+6.584 (OP+8.020)	221	
2- 13	1~4号機共用所内ボイラトレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 14	2号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<6.0E+00	4.3E+01	4.3E+01	7.1E+01	<1.2E+02	C	TP+5.115 (OP+6.551)	604	
2- 15	2号機変圧器防災用トレンチ	あり	0.2	<5.5E+00	3.5E+01	3.5E+01	1.3E+02	<1.2E+02	C	TP+7.664 (OP+9.100)	11	
2- 16	2号機オフガス配管ダクト	__※ <sup>1</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 17	2号機廃液サージタンク連絡ダクト	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 18	2~3号機共用所内ボイラトレンチ	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 19	2号機水素ガス配管トレンチ	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 20	消火配管トレンチ(2~3号機T/B間)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 21	消火配管トレンチ(2号機T/B南西側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 22	消火配管トレンチ(2号機R/B南側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 23	3号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<6.7E+00	5.2E+01	5.2E+01	6.0E+01	<1.2E+02	C	TP+4.924 (OP+6.360)	474	
2- 24	3号機変圧器防災用トレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 25	3号機防災用窒素配管トレンチ	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 26	3~4号機重油配管トレンチ	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 27	ユーティリティ配管ダクト	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 28	4号機海水配管(SW)埋設ダクト	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 29	4号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.3	<4.6E+00	2.3E+01	2.3E+01	1.9E+01	<1.2E+02	C	TP+7.404 (OP+8.840)	828	
2- 30	4号機変圧器防災用トレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 31	No.4, 5軽油配管トレンチ	あり	0.1	<5.9E+00	5.6E+01	5.6E+01	7.8E+01	<1.2E+02	C	TP+8.314 (OP+9.750)	45	
2- 32	4号機西側電気関係連絡トレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 33	4号機別棟機械室連絡トレンチ	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 34	消火配管トレンチ(運用補助共用施設東側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 35	消火配管トレンチ(SPT建屋東側)	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 36	消火配管トレンチ(SPT建屋北側)	あり	0.1	<3.5E+00	1.1E+01	1.1E+01	6.2E+01	<1.2E+02	C	TP+8.354 (OP+9.790)	14	
2- 37	消火配管トレンチ(重油タンク西側)	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 38	消火配管トレンチ(2号機北西側)	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 39	消火配管トレンチ(2号機西側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 40	酸素・水素配管トレンチ	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 41	消火配管トレンチ(2号機南西側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 42	消火配管トレンチ(共用所内ボイラー建屋西側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 43	消火配管トレンチ(3号機東側)	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 44	消火配管トレンチ(3号機北側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 45	消火配管トレンチ(3号機西側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 46	消火配管トレンチ(3-4号機排気筒南側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 47	消火配管トレンチ(4号機北西側)	なし	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 48	消火配管トレンチ(運用補助共用施設北側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 49	消火配管トレンチ(4号機西側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 50	消火配管トレンチ(4号機南西側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 51	消火配管トレンチ(4号機南側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 52	消火配管トレンチ(放水口北側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2- 53	消火配管トレンチ(4号機東側)	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2-追加1	1号機逆洗弁ピット											
2-追加2	2号機逆洗弁ピット											
2-追加3	3号機逆洗弁ピット											
2-追加4	4号機逆洗弁ピット											
2-追加5	1号機放水路	あり	0.1	7.5E+01	2.3E+03	2.4E+03	2.9E+03	1.2E+02	C	TP+1.444 (OP+2.880)	5,219	
2-追加6	2号機放水路	あり	0.1	2.9E+01	8.7E+02	9.0E+02	1.2E+03	<1.0E+02	C	TP+1.544 (OP+2.980)	5,352	
2-追加7	3号機放水路	あり	0.2	1.8E+01	5.9E+02	6.1E+02	6.3E+02	1.3E+02	C	TP+1.644 (OP+3.080)	3,355	
2-追加8	4号機放水路	__※ <sup>2</sup>	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
									計		16,939	

※<sup>1</sup> 高線量エリアのためアクセスができない箇所

※<sup>2</sup> 支障物により内部状況が確認できない箇所

※<sup>3</sup> 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所

※<sup>4</sup> 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため、測定箇所を変更した箇所

※<sup>5</sup> トレンチ(ダクト)内全線に溜まり水があり、採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所

※<sup>6</sup> 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所

※<sup>7</sup> 凍土設備の凍結により溜り水の状況が確認できない箇所

※<sup>8</sup> 溜まり水区分 A: 10<sup>6</sup>Bq/LLレベル以上

(Cs計濃度) B: 10<sup>5</sup>Bq/LLレベル

C: 10<sup>4</sup>Bq/LLレベル以下



・溜まり水調査結果一覧表(5・6号機周辺及びその他トレンチ等)

NO.	場所	今回調査 2022. 1月実施									
		溜まり水の有無	表面線量率 ( $\mu\text{Sv/h}$ )	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分 ※6	概算溜まり水量	
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全 $\beta$	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量(m <sup>3</sup> )
対策完了 2021. 12											
3- 1	5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 2	5号機電源ケーブルトレンチ(東側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5号機電源ケーブルトレンチ(西側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 3	5号機共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 4	5号機海水配管トレンチ	あり	0.1	<9.0E-01	3.0E+00	3.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+2.024 (OP+3.460)	554
	5号機海水配管トレンチ(SW系)東側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5号機海水配管トレンチ(SW系)西側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 5	5号機海水配管トレンチ(SW系)南側	あり※2	0.1	<1.1E+00	1.6E+01	1.6E+01	2.7E+01	<1.2E+02	C	TP+8.444 (OP+9.890)	55
	5号機海水配管トレンチ(SW系)北側	あり※2	0.2	1.3E+00	4.0E+01	4.1E+01	4.8E+01	<1.2E+02	C	TP+8.834 (OP+10.250)	6
3- 6	NO.3軽油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 7	5号機重油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 8	5・6号機スチームドレン配管トレンチ	あり	0.1	<8.6E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10.664 (OP+12.100)	7
3- 9	5号機薬品タンク連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 10	サブレーションプール水配管トレンチ	あり	0.2	1.7E+00	5.1E+01	5.3E+01	6.0E+01	<1.2E+02	C	TP+9.764 (OP+11.200)	7
3- 11	共用サブレーションプール水サーージパイプダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 12	5号機重油配管トレンチ(東側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 13	5号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.3	<8.8E-01	1.3E+00	1.3E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	上部)TP+7.704(OP+9.140) 下部)TP+1.843(OP+3.279)	14
	5号機主変圧器ケーブルダクト(東側)	あり※3	0.3	<9.0E-01	3.6E+00	3.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.234 (OP+9.670)	73
3- 14	5号機主変圧器ケーブルダクト(西側)	あり※3	0.2	<7.9E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.3E+01	<1.2E+02	C	TP+7.502 (OP+8.938)	96
3- 15	5号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<8.7E-01	1.7E+00	1.7E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.234 (OP+9.670)	33
3- 16	5・6号機通信ケーブル管路	あり	0.2	<1.0E+00	7.2E+00	7.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.617 (OP+10.053)	2
3- 17	5号機重油配管トレンチ(南西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 18	5号機西側電気関係連絡トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 19	5号機オフガス配管ダクト	あり	0.2	<7.8E-01	1.4E+01	1.4E+01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+11.774 (OP+13.210)	10
3- 20	5号機廃棄物系共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 21	消火配管トレンチ(5号機西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 22	消火配管トレンチ(5号機南側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 23	6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	あり	0.2	<1.1E+00	1.8E+00	1.8E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+1.424 (OP+2.860)	940
	6号機電源ケーブルトレンチ(東側)	あり※3	0.2	<9.9E-01	2.6E+00	2.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+1.858 (OP+3.294)	346
	6号機電源ケーブルトレンチ(西側)	あり※3	0.2	<8.7E-01	9.4E-01	9.4E-01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+3.067 (OP+4.503)	522
3- 24	6号機海水配管トレンチ(北側)東側	あり※3	0.8	<1.2E+00	2.0E+00	2.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+2.414 (OP+3.850)	172
	6号機海水配管トレンチ(北側)西側	あり※3	0.3	<1.0E+00	4.5E+00	4.5E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+3.044 (OP+4.480)	383
	6号機海水配管トレンチ(南側)東側	あり※3	0.2	<8.3E-01	4.0E+00	4.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+0.994 (OP+2.430)	106
3- 25	6号機海水配管トレンチ(南側)西側	あり※3	0.2	<9.3E-01	1.2E+01	1.2E+01	1.9E+01	<1.2E+02	C	TP+3.124 (OP+4.560)	368
	6号機海水配管トレンチ(SW系)南側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 26	6号機海水配管トレンチ(SW系)西側	あり※2	0.2	<7.7E-01	3.6E+00	3.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+7.914 (OP+9.350)	33
	6号機海水配管トレンチ(SW系)北側	あり※2	0.2	<1.1E+00	6.2E+00	6.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.073 (OP+9.509)	84
3- 27	6号機薬品タンク連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 28	6号機共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 29	6号機パイプダクト(ポンプ室～MGセット建屋)	あり	0.2	<9.0E-01	2.7E+00	2.7E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+1.214 (OP+2.650)	141
3- 30	NO.6軽油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 31	6号機DG連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 32	6号機主変圧器ケーブルダクト(東側)	あり※4	0.3	<8.1E-01	<8.8E-01	ND	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8.554 (OP+9.990)	589
3- 33	6号機主変圧器ケーブルダクト(西側)	あり※4	0.1	<6.6E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+2.952 (OP+4.388)	10
3- 34	非常用ガス処理配管ダクト	あり	0.2	1.4E+00	4.2E+01	4.3E+01	4.9E+01	<1.2E+02	C	TP+2.952 (OP+4.388)	10
3- 35	6号機西側電気関係連絡トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 36	6号機放射性流体用配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 37	6号機オフガス配管ダクト	あり	0.3	<2.0E+00	2.5E+01	2.5E+01	3.1E+01	<1.2E+02	C	TP+11.886 (OP+13.322)	5
3- 38	6号機廃棄物系共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 39	消火配管トレンチ(6号機西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 40	旧事務本館北側トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 41	水処理配管トレンチ(事務本館東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 42	水処理配管トレンチ(ろ過水タンク東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 43	水処理配管トレンチ(事務本館北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 44	水処理配管トレンチ(中央交差点東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 45	水処理配管トレンチ(ふれあい交差点北東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 46	5号機酸素・炭酸ガス配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 47	消火配管トレンチ(5号機南西側)	あり	0.3	<6.9E-01	3.4E+00	3.4E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+9.984 (OP+11.420)	5
3- 48	消火配管トレンチ(排気筒南側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 49	消火配管トレンチ(排気筒北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 50	消火配管トレンチ(6号機北西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 51	消火配管トレンチ(6号機北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 52	消火配管トレンチ(6号機北東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 53	5・6号機変圧器防災配管トレンチ(南側)	あり	0.2	<8.2E-01	<1.1E+00	ND	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10.844 (OP+12.280)	3
3- 54	5・6号機変圧器防災配管トレンチ(北側)	あり	0.2	<1.0E+00	1.4E+00	1.4E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10.554 (OP+11.990)	1
3- 追加	5・6号機試験掘坑	あり	0.2	<7.5E-01	9.7E-01	9.7E-01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+7.874 (OP+9.310)	1.869
										計	6.434

※1 支障物により内部状況が確認できない箇所

※2 単体の構造で構築されてる箇所

※3 トレンチ内部で2箇所に分かれ溜まり水が確認された箇所

※4 昨年度調査結果を基に、トレンチ内部に2箇所溜まり水が確認されてきたことから、追加にて西側からの採水も実施(西側採水実施後、今回の東側水位計測結果を確認したところ、昨年度より水位が上がっておりトレンチ内全域に溜まり水のあることが確認された)

※5 溜まり水区分 A: 10<sup>6</sup>Bq/Lレベル以上

(Cs計濃度) B: 10<sup>5</sup>Bq/Lレベル

C: 10<sup>4</sup>Bq/Lレベル以下

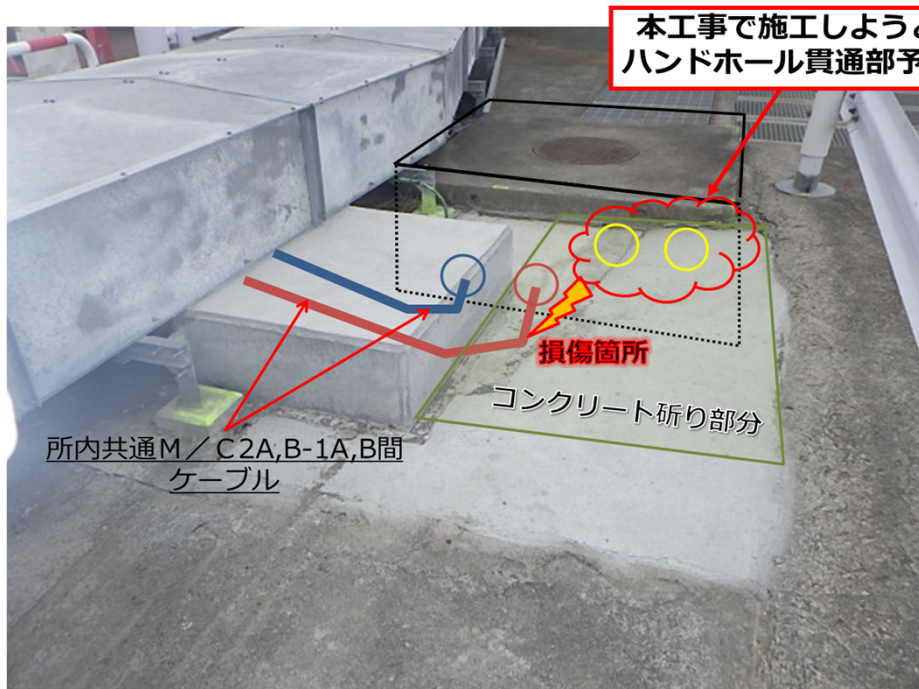
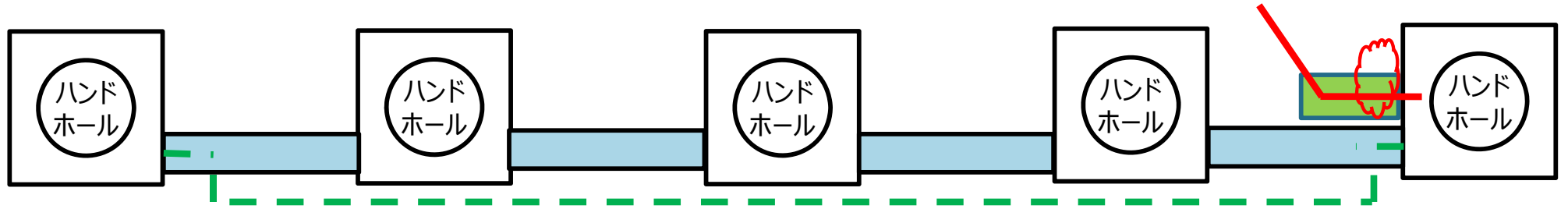
- 4月24日午前10時43分頃、所内電源A系が停止しました。
- 各プラントの安定状態を維持する機能（原子炉注水、使用済燃料プール冷却、原子炉格納容器ガス管理設備等）は運転を継続しており、モニタリングポスト、敷地境界連続ダストモニタのパラメータについても有意な変動は確認されておられません。その後、所内電源については、当該事故点を除き、同日、午後4時3分頃に復旧を完了しております。
- 放出中のALPS処理水希釈放出設備については、所内電源A系の停止に伴い自動で放出を停止しましたが、ALPS処理水希釈放出設備に異常は確認されなかったことから、同日、午後5時16分にALPS処理水希釈放出設備の運転を再開しております。
- 所内電源A系が停止した同時刻に、構内の大型機器点検建屋西側において、掘削作業(コンクリート舗装面(表層)の剥がし作業)に従事していた協力企業作業員の負傷が確認されております。現場状況を確認したところ、当該掘削作業によりケーブルが損傷し、所内電源A系が停止したものです。
- 負傷者については意識があり、また、放射性物質による汚染はありません。発電所構内の入退域管理棟救急医療室にて医師の診察を受け、緊急搬送の必要があると診断されたことから、午前10時57分に救急車を要請し、医療機関へ搬送しました。診断の結果、「右頬部・右前腕2度熱傷」と診断されており、入院はせず帰宅しております。

### <参考>

- 4月24日午前10時43分頃に発生した所内電源A系の停止に伴い、免震重要棟M/C（メタクラ）の電圧がなくなったことから、午前10時43分に実施計画第1編第29条で定める運転上の制限「免震重要棟の維持に必要な交流高圧電源母線が受電されていること」の逸脱を判断しました。なお、免震重要棟電源については、午前10時43分に免震重要棟ガスタービン発電機が自動起動し、午前11時30分現場にて免震重要棟M/C母線電圧確立を確認したことから、運転上の制限逸脱からの復帰を判断しております。
- 同日午後2時23分頃、所内電源A系の電源復旧作業の過程において、免震重要棟の電源が喪失したことから、午後2時23分に実施計画第1編第29条で定める運転上の制限「免震重要棟の維持に必要な交流高圧電源母線が受電されていること」の逸脱を判断しました。なお、免震重要棟の電源については、午後2時43分に所内共通M/C5Aより免震重要棟M/Cを受電し母線電圧確立を確認したことから、午後2時43分運転上の制限逸脱からの復帰を判断しております。

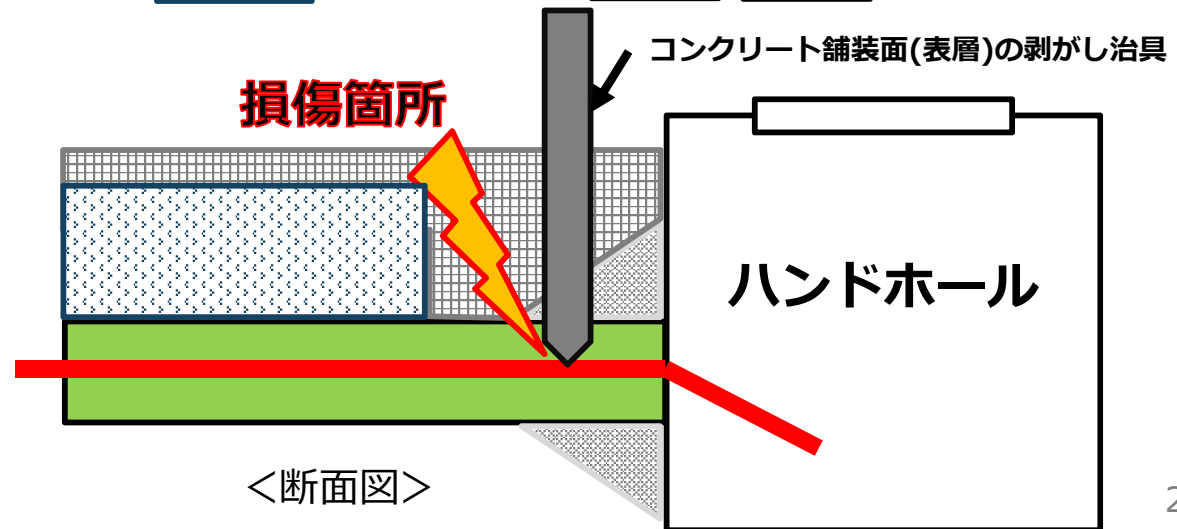
# 1. 工事概要

構内配電線の埋設管路の補修(リルート)に伴い、屋外舗装箇所の掘削工事を実施していた。当日は、このうち、コンクリート舗装面(表層)の剥がし作業を実施していたもの。



現場状況写真

- <凡例>
- ・・・ 構内配電線ケーブル (リルート)
  - ・・・ 所内共通M/C A系ケーブル
  - ・・・ 所内共通M/C B系ケーブル
  - ・・・ コンクリート (表層)
  - ・・・ コンクリート
  - ・・・ 砕石
  - ■ ・・・ 管路



<断面図>



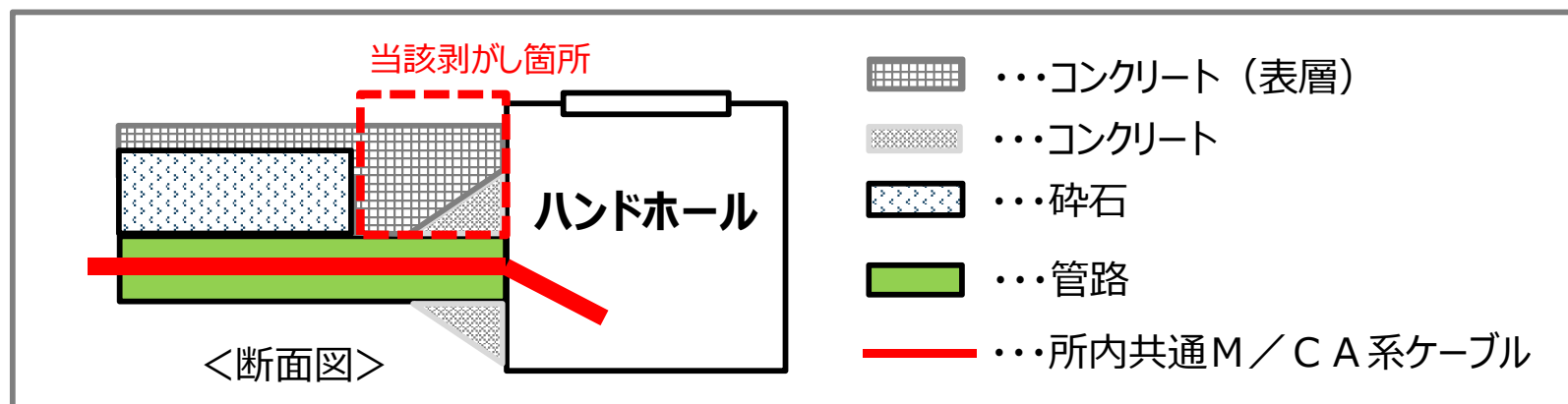
## 2. 時系列

3月18日		<ul style="list-style-type: none"><li>• 当社の安全事前評価を実施</li></ul>
3月25日		<ul style="list-style-type: none"><li>• 元請企業の事前検討会と現場総点検</li></ul>
4月8日		<ul style="list-style-type: none"><li>• 準備作業含め当該箇所作業開始</li></ul>
4月24日	9 : 30頃	<ul style="list-style-type: none"><li>• ハンドホールのコンクリート舗装面(表層)剥がし作業開始</li></ul>
	10 : 43頃	<ul style="list-style-type: none"><li>• 所内共通M/C A系ケーブル損傷に伴う所内共通M/C1A停止 ※電源停止 (免震重要棟M/C、M/C3A、5A、7A) ALPS処理水希釈放出設備(移送設備)停止</li><li>• アークによる被災</li></ul>
	11 : 34頃	<ul style="list-style-type: none"><li>• 入退域管理棟救急医療室から病院へ搬送</li></ul>
	16 : 03頃	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源復旧完了</li></ul>
	17 : 16頃	<ul style="list-style-type: none"><li>• ALPS処理水 放出再開</li></ul>
	19 : 45頃	<ul style="list-style-type: none"><li>• 診断結果「右頬部、右前腕2度熱傷」入院なし</li></ul>

### 3. 事実関係

#### 【当日の作業状況】

- 当日は、コンクリート舗装面(表層)の剥がし作業を行う計画であり、作業班（作業班長1名、作業員3名の体制）は、要領書に従い実施していた。
- 当該剥がし箇所（ハンドホール近接部）は、コンクリート舗装面と、埋設管路とハンドホールを固定しているコンクリート部とが一体構造となっていた。
- このため、当該作業班は、埋設管路とハンドホールを固定しているコンクリート部まで剥がし作業を継続した結果、埋設管路及びケーブルの損傷に至った。



- 当社及び当該元請企業は、事前の現場確認にて、埋設管路及び充電されたケーブルが布設されていることは認識していた。
- 当社は、当該工事全体としてはケーブル損傷リスクがあることは認識しており、当日の作業はコンクリート舗装面(表層)の剥がし作業であり、ケーブルを損傷させることはないと考えていた。したがって、作業班に対して具体的な注意喚起を徹底するよう、元請企業に指示していなかった。
- 当該元請企業も、当社と同様に考えていたため、作業班に対して具体的な注意喚起を徹底していなかった。

## 4. 本事案の問題と対策について

### □当社の問題点

- 当社は、今回のコンクリート舗装面(表層)の剥がし作業において、ケーブルを損傷させることがないと考え、作業班に対して具体的な注意喚起を徹底するよう、元請企業に指示していなかった。

### <対策>

- 当社は、充電部近接作業(※)に関するリスク評価において、事前の現場確認を踏まえた作業班に対する具体的な注意喚起事項を抽出し、元請企業に対して作業班全員への周知徹底を指示する。
- 充電部近接作業については、その内容によらず、ケーブル損傷に至るリスクがあるという前提でリスク評価を行い、停電作業の要否や作業計画の見直しも含めて検討・実施する。
- 充電部近接作業については、作業前に現場確認を行った上で実施するとともに、たとえ今回のようなコンクリート舗装面(表層)の剥がし作業においても、当社が立ち会うこととする。
- 当社は、元請企業の対策の実施状況を確認する。

### □当該元請企業の問題点

- 当該元請企業も、ケーブルを損傷させるリスクがあることを、作業班に対して具体的な注意喚起を徹底していなかった。

### <対策>

- 当社によるリスク評価や指示に基づき、当該元請企業は、事前の現場確認を踏まえて、日々の作業毎に具体的な注意喚起事項を決めるとともに、作業班に対して、TBM-KY、現地KYを通じ、伝えることを徹底する。

(※) 充電部近接作業：充電された高圧電路などの近くで行う作業のこと



# <参考> 福島第一原子力発電所構内図



福島第一原子力発電所 構内図